

豊橋女性団体連絡会広報誌 第68号(2022.7)

男女共同参画の視点で女性たちが協力しエンパワーメントできる関係をイメージして名づけました。

シスターフッド

令和4年度豊橋女性団体連絡会・役員

会長 大谷靖子 (豊橋おやこ劇場協議会)

副会長 小杉賀洋子 (東三にじの会)

// 水谷津太枝 (新日本婦人の会豊橋支部)

// 丹羽知香子 (Kids&Mama NPO ねこのて)

～男女平等実現のための長い列に加わる～

均等法をつくる 赤松良子

シスターフッド 66 号〈豊橋女性団体連絡会の歩み〉補筆

★豊橋女性団体連絡会の歩み★

- S54 豊橋婦人団体連絡会
S55 婦人のつどい・開催
S57 婦人学級・市民文化教室・市民館講座
S59 婦人文化教室・婦人文化大学・教養コース、婦人ボランティア養成講座、趣味コース
S61 豊橋婦人団体連絡会・21団体登録
S62 豊橋婦人フェスティバル開始
H3 豊橋市・設楽町交流事業開始
H4 婦人係から女性係
豊橋女性団体連絡会へ改称
豊橋女性フェスティバルに改称
H6 豊橋市女性会館 会館
H10 三遠南信交流事業開始
H11 豊橋男女共生フェスティバルに改称
H21 男女共同参画センター「パルモ」に改称



- 平成 23 年 男女共同参画課から
市民協働推進課に改称
日本女性会議派遣から国立女性会館
(ヌエック)へ 変更(平成 27 年度終了)
平成 24 年 団体役員選出法の改定
豊橋市男女共生フェスティバルと分離
平成 27 年 設楽町女性交流会・終了
平成 28 年 豊橋市制 110 周年
女性に対する暴力をなくす運動
(パープルリボン)開始
令和 2 年 コロナのため 活動縮小
Zoom 会議活用



☆戦後の豊橋の女性のあゆみ☆

- 昭和21年 婦人講座 開始
昭和22年 地域婦人会発足 25校区
昭和23年 社会学級へと発展し全校区で実施
豊橋連合婦人会結成
昭和24年 文化教室・女性文化シリーズ開始
昭和35年 ※市の花「つつじ」に決定
昭和39年 家庭教育学級
昭和40年 生活実技講座 開設
昭和42年 生活家庭館 開設 婦人教育係 新設
昭和43年 社会教育課に婦人教育係 設置
昭和45年 若妻学級・婦人スポーツ教室 開設
昭和47年 家庭教育相談 開設
昭和52年 豊橋連合婦人会(豊橋婦人会連絡協議会)解散
※斎場白ヶ池会館設置
平成元年 婦人意識啓発冊子「とよはしの女性」発刊
平成 3 年 ※二川本陣資料館会館
平成 4 年 女性指導者研修・あいちカレッジ研修・日本
女性会議派遣始め ※サイエンスコア開館
平成 5 年 花づな 発行開始
平成 6 年 市長と女性の懇談会・開始
平成 7 年 ※世界女性会議(北京会議)開催
平成 8 年 市制 90 周年 ※豊橋創造大学創設
※豊橋女性人材育成事業の開始
平成 9 年 ※初・女性助役登用
平成 11 年 中核市へ移行※豊橋市保健所開設
平成 12 年※異業種(ウイメンズ・ネット)開始
※シスターフッド発行(7 月で 10 号)
平成 15 年 とよはしハーモニープラン 21 策定
平成 16 年 豊橋男女共同参画推進条例・公布
平成 17 年 男女共同参画全国都市会議 in とよはし
平成 18 年 市制 100 周年
平成 20 年※ここにこ 開館

豊橋女性団体連絡会の研修と実践

★終了した事業★

★豊橋女性と設楽町女性との交流会

S60 国のモデル事業の都市山村交流事業の一環
若者交流会・小学生ふるさと交流会・中学生ふるさと交流会・高齢者ゲートボール大会に加え、平成 3 年にとよがわを介して上流・下流の命の水で繋がる縁ではじめ、H29 に終了。

★H5 女性たより 花づな発行

変遷し 43 号で休止

★他都市女性交流会

江南女性団体連絡協議会・稲沢市女性団体連絡会・高浜市女性団体・安城市・田原市 他

★女性人材養成研修

あいちカレッジ・日本女性会議・国立女性会館(ヌエック) H27 まで

★異業種交流会(ウィメンズネット)

H12~H16 まで

★現在継続中の事業★

★連絡会機関誌 シスターフッド発行

開始不明・平成12年7月で10号

★平成6年 市長と女性の懇談会

★平成10年 三遠南信女性交流会

★愛知県人材育成セミナー派遣

★平成28年 女性に対する暴力を

なくす運動 (パープルリボン)開始

豊橋駅前にてティッシュ配り



豊橋女性団体連絡会・研修会

(年2回予定・ジャンル自由)



★☆これまでの豊橋女性団体連絡会・研修会のあらまし★☆

★子ども関連

子ども虐待防止・子どものしつけ・子どもの貧困・子育ての今・子育てのコツ・子どもの権利条約

★防災関連

女性の視点から防災を・HUG(避難所運営ゲーム)研修・防災を考える・災害とジェンダー

★環境関連

バイオマスセンター見学・家庭の省エネグループワーク・海洋プラスチックごみを考える

★その他

女性の健康・車いす体験・地元で活躍する人

知行合一(ちこうごういつ)

知識と行動は一体であって、知識は行動を伴ってはじめて完全なものになる。

真の知識は実践によって裏付けられて行かなければならない。

〈豊橋女性団体連絡会〉は

女性の多様な活動が広がる中で、互いに切磋琢磨し、その持つ力を社会に向けて発揮していくことを目指しています。

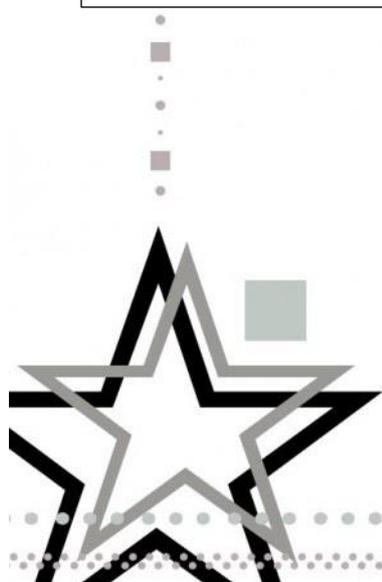
「協働と共生」で様々な課題に取り組みながら、女性団体同士の交流を深めています。



〈豊橋女性団体連絡会構成団体〉

- ① わっばの会 ② とよはし未来を拓く会 ③ 豊橋おやこ劇場協議会
- ④ 東三にじの会 ⑤ 新日本婦人の会 豊橋支部 ⑥ Kids&Mama
- NPO ねこのて ⑦ とよはし女性フォーラム ⑧ NPO とよはし CAP
- ⑩ ハッピーグループ ⑪ NPO まんま ⑫ 豊橋商工会議所女性会
- ⑬ グループ音紡ぎ ⑭ 農村輝きネット・東三河 ⑮ ラ・ポール

※休会⑧JA 豊橋女性部会



時代と共に修正加筆されながらも、歴史と伝統を保ってきたなかであって、すべて個々の存在が重要です。

一人一人がなすべきことをなす。これがすべての活動の原点であり、豊橋女性団体連絡会の活動エネルギーにもなるのです。

豊橋女性団体連絡会広報誌 シスターフッド 68号

発行年月日 2022・7

編集発行 豊橋女性団体連絡会シスターフッド発行担当

事務局 豊橋市市民協働推進課

⑦⑨⑩⑪